



広報

あつま

2015(平成 27 年)

12

No.760



森林資源を活用した取り組みを模索 森 本郷 黒 祐季 (こうじ こうじ) 幸治さん (34歳)

今年9月14日付で地域おこし協力隊林業支援員の委嘱を受けた黒祐季さん。出身は群馬県高崎市。大学進学で北海道に来て以来、北海道での生活は16年目になつたそつ。

以前は函館市内の学校で職員として働いていたという黒さんは、アウトドアが好きで、学生時代から、子どもたちに自然を通じた体験学習を行う団体にボランティアとして参加していたこともあり、以前から興味があった環境教育に関わる仕事をしたいと思っていたところ、インターネットの就職支援サイトで厚真町で林業支援員を募集しているのを知った。「募集の活動内容にあつた、環境保全活動を実施する団体で研修を受けられる厚真町で林業支援員を募集しているのを知った。『募集の活動内容にあつた、環境保全活動を実施する団体で研修を受けられる」と、応募のきっかけを語る。

現在は、林業支援員としての活動に必要な基礎的な研修を受けています。厚真町で林業支援員を募集しているのを知った。「募集の活動内容にあつた、環境保全活動を実施する団体で研修を受けられる厚真町で林業支援員を募集しているのを知った。『募集の活動内容にあつた、環境保全活動を実施する団体で研修を受けられる」と、応募のきっかけを語る。

それをどのように発信していくのかをテーマに、いろいろ模索していきたいです。」

厚真町に移住して3ヶ月。厚真町にたくさんの登山にもたくさん行きたいですね。厚真に来てからもうれしく思っています」と話す。「引つ越したばかりなのでいろいろ忙しくも充実した毎日を過ごしているそう。

人

本郷

黒 祐季 (こうじ) まゆずみ

ぼうさい

防災

⑨年末年始の準備は防災のチャンス

いよいよ12月。年末の大掃除や新年を迎える準備をする時期になりました。大掃除とあわせて、家の安全点検をしておきましょう。家具の配置の見直しや備蓄の確認に加え、防災無線の電源が入っているか、音が聞こえているかもチェックしておくと、より安心して新年を迎えるかもしれません。このように、年中行事と防災のちょっとした取り組みを組み合わせると、無理なく続けることができると思います。

11月19日には、昨年に続いて厚真高校1年生向けに防災授業をする機会をいただきました。地震や津波の避難について、こちらから「正解」のない問い合わせを投げかけ、生徒それぞれの考えを表してもらう授業です。始めは少し戸惑いながらも、ユニークな意見が飛び出し、高校生のフレッシュな感性に感銘を受けました。生徒の皆さん、ご準備いただいた先生方、本当にありがとうございました。

厚真町の実情を踏まえたオリジナルの防災教材作りは、だいぶ形が見えてきたところです。12月には教材の試行版を使って、町内の「北海道防災マスター」を対象とした研修を行います。町内の皆さんに親しみやすく、楽しく学べる教材にしたいと考えておりますので、関心を寄せていただけるとうれしいです。引き続き、進捗状況をこのコラムの中でお伝えしていきたいと考えています。

■プロフィール

定池祐季 (さだいけ・ゆき)

東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター (CIDR) 特任助教。

剣淵町出身。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士 (文学)。北海道大学助教を経て現職。専門は、災害社会学・防災教育。北海道南西沖地震を奥尻島で経験、災害復興と地域防災に関する研究に取り組むほか、各地で防災教育活動を展開している。2014年より厚真町防災アドバイザー。



今月の内容

■ I LOVE あつま・人口・世帯数 … 2 ~ 3

■ 町文化祭 … 4 ~ 5

■ 平成27年度厚真町表彰式 … 6

■ むし歯のない子19人を表彰 … 7

■ 国民年金 … 8 ~ 9

■ 安平・厚真行政事務組合 … 10 ~ 11

■マイナンバーに関する疑問・質問

一問一答 … 12 ~ 13

■ まちの話題 … 14 ~ 17

■ 節電にご協力をお願いします … 18

■ 公共施設等年末年始ガイド … 19

■ みんなの広場 … 20 ~ 21

■ まなびや … 22 ~ 23

■ 健康情報・ほけんの掲示板 … 24 ~ 25

■ 情報ひろば … 26 ~ 27

■今月の表紙

11月3日と4日の2日間、総合福祉センターや総合ケアセンターゆくり、厚南会館などを会場に「厚真町文化祭」が開催されました。



総合福祉センターでは茶道会によるお点前と呈茶が行われ、会員が優美な所作でお点前を披露していました。

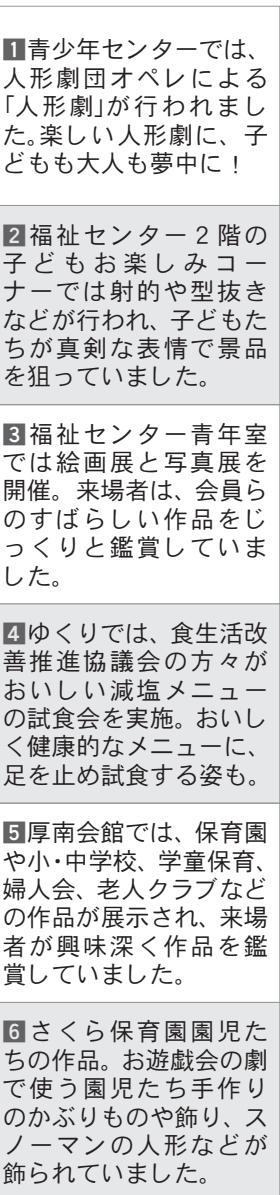
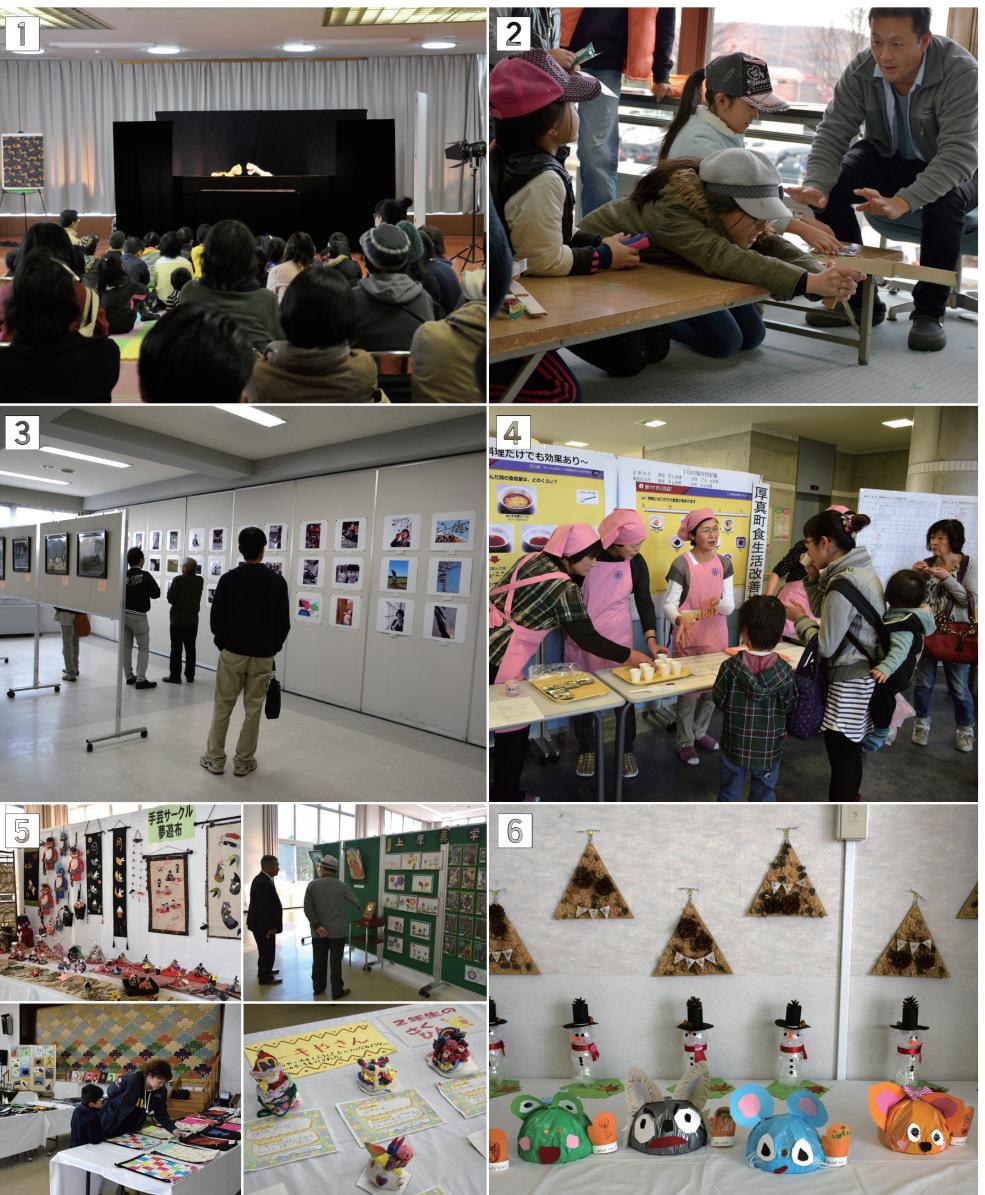
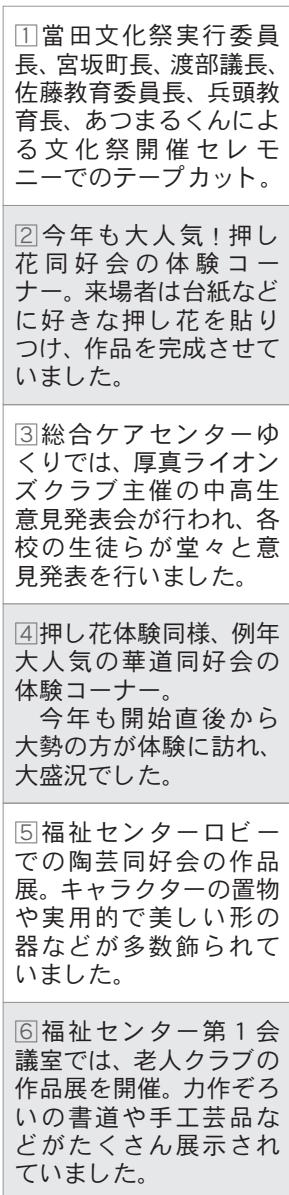
2015(平成27)年12月
NO. 760

11月30日現在の人口

4,702人(前月比-6)

男 2,304人／女 2,398人

世帯数 2,128(前月比+3)



文化・芸術の秋 1年間の集大成を発表

11. 3~4 町文化祭



公式キャラクターあつまるくんによるテープカットで文化祭が開幕しました。各会場では、文化協会の加盟団体をはじめ、こども園や保育園、小・中学校、老人クラブ、一般町民などから出展された作品の展示と各団体、個人による芸能発表会が行われ、会場を訪れた人々は、作品を鑑賞し、文化の秋・芸術の秋を満喫していました。

また、総合ケアセンターゆくりでは町婦人団体協議会によるバザーが、厚南会館では上厚真地域有志によるバザーなどがお店し、にぎわいをみせていました。

町民の文化芸術活動の集大成である「厚真町文化祭」が11月3・4日の両日、総合福祉センターと総合ケアセンターゆくり、厚南会館、青少年センターで行われました。

3日は総合福祉センターで開催セレモニーが行われ、主催者を代表して宮坂町長が「会場には、これまで丹精を込められた作品が数多く並んでいます。豊かな地域を育むためには、経済力だけでなく、文化を高めて創造的な力を伸ばし、それを家庭や地域に伝承していくことも大切。これを契機に、さらに皆さんの活動が充実していくことを願っています」とあいさつ。その後、「宮坂町長、渡部町議会議長、佐藤教育委員長、兵頭教育長、當田文化祭実行委員長、町

虫歯が1本もない 19人の子どもたちを表彰

11月13日、総合ケアセンターゆくりで「虫歯のない子どもの表彰式」が行われ、受賞者19人（50音順で掲載）のうち18人が出席し、近藤副町長から賞状と記念品が手渡されました。

今回の表彰は、平成23年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた33人が対象で、今年度の歯科健診受診者から選ばれました。

近藤副町長は「保護者の皆様には、お子さんのむし歯のない歯づくりのために努力をいただいたことと思います。これからも歯を大切にする気持ちを持って、歯を磨く生活習慣を身につけてほしいと思います」とお祝いの言葉を述べていました。



厚真町表彰式

2団体と7人を表彰
地域振興等に貢献された

都合により表彰式を欠席された方につきましては、氏名・住所と功績のみを掲載しています。

11.3

平成27年度厚真町表彰式が11月3日、総合福祉センターで行われ、町の発展や地域の振興に尽くされた2団体と7人の方が表彰されました。

宮坂町長から受賞者一人ひとりに表彰状と記念品が贈呈された後、受賞者を代表して自治功労賞を受賞された森田正司さん（宇隆）から謝辞が述べられ、列席者から祝福の拍手が送られていました。

自治功労賞



森田正司さん
(宇隆)

6期18年にわたり町農業委員会委員および会長として、また3期12年にわたり町議会議員として卓越した識見と指導力をもって地方自治の進展と農業農村の発展に貢献。

自治功労賞



佐藤 勉さん
(豊川)

10期30年にわたり民生委員児童委員として、また4期12年にわたり町農業委員会委員として卓越した識見と指導力をもって民生の安定と農業農村の発展に貢献。

自治貢献賞



今村昭一さん
(朝日)

多年にわたり町議会議員として優れた識見をもって尽力し、地方自治の進展に貢献。

自治貢献賞



井上次男さん
(本郷)

多年にわたり町議会議員として優れた識見をもって尽力し、地方自治の進展に貢献。

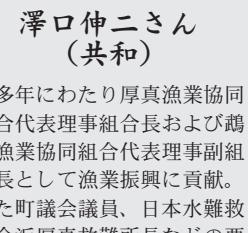
自治貢献賞



日西善博さん
(高丘)

多年にわたり町農業委員会委員として農業基盤強化に尽力。また、いぶり農業共済組合組合長理事などの要職を勤め地方自治の進展と農業農村の発展に貢献。

産業貢献賞



澤口伸二さん
(共和)

多年にわたり厚真漁業協同組合代表理事組合長および鶴川漁業協同組合代表理事副組合長として漁業振興に貢献。また町議会議員、日本水難救済会浜厚真救難所長などの要職を担い、海域の安全向上と地方自治の進展に寄与。



善行賞



藤原奈々子さん
(京町)

都合により表彰式を欠席された方につきましては、氏名・住所と功績のみを掲載しています。

善行賞



苦小牧信用金庫
理事長 石田芳人さん
(苦小牧市)

地域振興助長の趣旨をもつて多額の金員を寄付され、社会基盤の整備など町勢発展に寄与。

善行賞



住拓工業株式会社
代表取締役社長 濑尾 清さん
(苦小牧市)

地域振興助長の趣旨をもつて多額の金員を寄付され、社会基盤の整備など町勢発展に寄与。

過去5年分まで国民年金保険料が納められます！ 国民年金保険料の後納制度

後納制度とは、時効で納めることができなかった国民年金保険料について、平成27年10月から平成30年9月までの3年間に限り、過去5年分まで納めることができる制度です。

後納制度を利用することで、年金額が増えたり、納付した期間が不足して年金を受給できなかつた方が年金受給資格を得られたりする場合があります。詳しい内容は、下記の専用ダイヤル、または苦小牧年金事務所にお問い合わせください。

ここが
ポイント！

- ☆保険料を納付することにより、年金を受けるために必要な資格を得られる可能性があること
- ☆保険料を納付することにより、将来受け取る年金額が増額すること

1ヶ月分の後納保険料を納付することにより増額する老齢基礎年金の目安

$$\frac{780,100\text{円} \text{ (平成27年4月時点の満額の年金額)}}{480\text{ヶ月} \text{ (40年}\times 12\text{ヶ月)}} = \text{年額で1,625円増額}$$

国民年金保険料専用ダイヤル ☎ 0570-011-050

納付は口座振替が便利でお得です！

お申し込みは2月末日まで！

国民年金保険料の納付には、便利でお得な『前納制度』があります。前納すると、表のとおり割引になります。平成28年4月振替分の申し出は、平成28年2月末日までです。

平成27年度分	保険料額	割引額
毎月納付書で現金納付	円 187,080	円 —
1年前納(現金納付)	183,760	3,320
1年前納(口座振替)	183,160	3,920
2年前納(口座振替)	366,840 (2年分)	15,360 (2年分)

前納のお申し込みは、
○年金手帳 ○通帳 ○印鑑（金融機関の届出印）
をお持ちのうえ、ご利用の金融機関窓口または役場町民福祉課町民生活グループでお申し込みください。

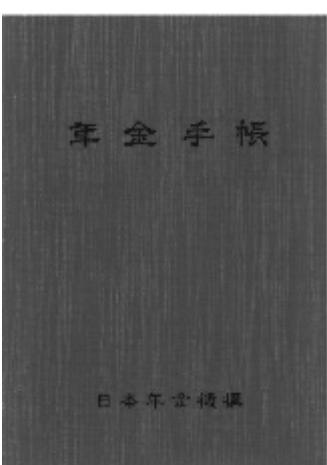
成人おめでとうございます！
20歳になるみなさんへ

○年金手帳は大切に保管を

国民年金や厚生年金に加入すると交付される年金手帳。自分自身の基礎年金番号などが記入されています。

年金手帳は、就職して厚生年金に加入するとき、退職して国民年金に加入するときなど、年金に関するほとんどの場面に提出を求められます。

勤務先が変わったり
住所が変わっても、一生変わらず使用します
ので、大切に保管してください。



国民年金についてのご相談・お問い合わせは、

役場町民福祉課町民生活グループ（☎26-7871）
日本年金機構苦小牧年金事務所（☎0144-36-6135）

国民年金は、20歳以上の国民みんなが加入する大切な制度です。一人でも多くの方に国民年金について理解していただけるよう、年4回に分けて、しきみなどを紹介しています。

国民年金

◆ 国民年金保険料は
全額が社会保険料控除の対象です◆

◆ 社会保険料控除証明書の
再発行について◆

確定申告等をする場合は、今年1年間に
納付した社会保険料控除証明書の添付
が必要です。

社会保険料控除証明書は、今年1月から9月までに国民年金保険料を納めた方は、来11月中に、10月以降に納めた方は、来年2月に送付されます。（11月に送付された場合は、2月には送付されません）また、社会保険料控除証明書に記載されている月分以外の保険料を12月31日までに納付した場合、平成27年分として申告ができます。その際には、後から納付した保険料の領収証書も添付する必要があります。

◆ ご家族の分の保険料も納めた方は
合算して申告できます◆

この場合は、ご家族分の社会保険料控除証明書や領収証書の添付が必要です。



年末調整・確定申告まで大切に保管を

A document titled "平成27年度社会保険料(国民年金保険料)控除証明書". It contains sections for "被保険者氏名・住所" (Name and address of insured), "納付状況の記載" (Recording of payment status), "大変なお知らせ" (Important notice), and "社会保険料(国民年金保険料)控除証明書" (Social insurance premium (National Pension Premium) deduction certificate). There are also tables for "平成27年中の納付済保険料額" (Amount of premiums paid in fiscal year 2015) and "納付済保険料の証明額" (Amount of premiums paid as proof).

平成27年度社会保険料(国民年金保険料)控除証明書

紛失等により再発行が必要な際には、
左下記までご連絡をお願いします。（ご連絡をいただいてから、おおむね1週間程度で郵送されます）
なお、再発行の手続きの際には、年金手帳など基礎年金番号が分かるものをお手元にご用意ください。

お問い合わせは…

ねんきん定期便・ねんきんネット等専用ダイヤル

☎0570-070-117

※自動音声案内に従って「3」を押してください。

【受付時間】

月～金曜日（午前9時～午後7時）

第2土曜日（午前9時～午後5時）

（ご注意）祝日（第2土曜日を除く）、12月29日～1月3日はご利用いただけません。

または、年金事務所へおかけください。

保険料を納付した時期	控除証明書が送付される時期
平成27年1月1日～平成27年9月30日	平成27年11月
平成27年10月1日～平成27年12月31日	平成28年2月

※11月に送付された場合は、2月には送付されません。

■平成26年度のごみ処理状況

平成26年度における、2町（厚真町・安平町）の皆さんから出されたごみの排出量やリサイクルの状況、ごみ処理にかかった経費をお知らせします。



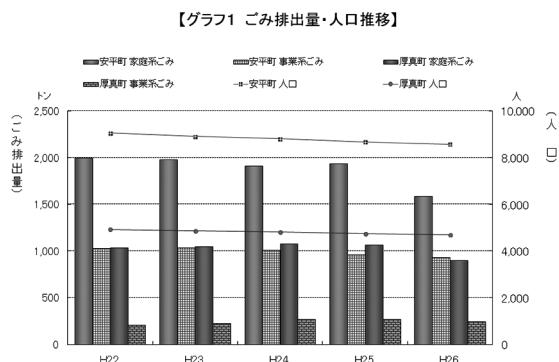
ごみの排出量

3,656トン（平成26年度総排出量 対25年度比569トン減少）

安平町・厚真町における過去5年間の家庭系及び事業系のごみ排出量と人口の推移はグラフ1のとおりです。

平成26年度は前年度と比べ、総排出量で569トン減少しました。

平成25年7月より家庭ごみ有料化が開始され、直前の6月までは『もやせるごみ』『もやせないごみ』が前年比で大幅に増加しましたが、以降は皆様のご協力により、前年比で『もやせるごみ』が約17%、『もやせないごみ』が約31%減少し、年度計では約13%減少しました。



安 平 町			厚 真 町		
家庭系ごみ	事業系ごみ	人口	家庭系ごみ	事業系ごみ	人口
H22	1,998トン	1,029トン	9,059人	1,035トン	208トン
H23	1,979トン	1,030トン	8,911人	1,049トン	221トン
H24	1,915トン	1,008トン	8,810人	1,082トン	265トン
H25	1,935トン	957トン	8,679人	1,065トン	268トン
H26	1,587トン	929トン	8,581人	899トン	241トン



資源化の推移

排出されるごみのうち、資源化される割合をリサイクル率と定め、平成26年度のリサイクル率は31.2%で、内訳は右表のとおりです。

平成25年7月からの有料化とともに、紙類・せん定枝の収集が始まり、『もやせるごみ』や『もやせないごみ』から資源回収への移行が進んだ結果がリサイクル率の増加に表れています。

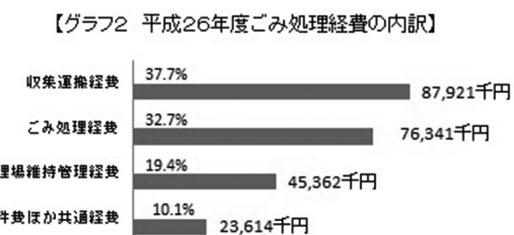
リサイクルすることは、限りある資源を有効に活用するとともに、経費の節減にもなりますので、引き続き資源化の取り組みにご協力をお願いします。

(単位:トン・%)					
	H22	H23	H24	H25	H26
鉄くず	81	86	98	128	51
紙パック	2	2	2	3	3
ペットボトル	48	46	37	33	39
びん	112	103	104	92	101
缶	93	98	88	99	74
生ごみ堆肥化	200	193	183	179	171
古紙類	479	587	559	718	508
プラスチック	85	161	168	190	194
小型電子・電気機器		4	10	10	6
紙類				94	139
せん定枝				12	12
リサイクル率(%)	23.2	26.3	25.8	31.5	31.2

ごみの処理経費

平成26年度のごみ処理経費の総額は2億3,323万8千円で、内訳はグラフ2のとおりです。

ごみの収集運搬経費、ごみの焼却・埋立・資源化などを行うごみ処理経費、組合の処理場の維持管理経費および人件費等が直接ごみ処理に要した経費で、ごみ1トンあたり約6万4千円、住民1人あたりで計算すると、約1万8千円となります。



【問い合わせ】安平・厚真行政事務組合（☎22-3151）／役場町民福祉課町民生活グループ（☎26-7871）

安平・厚真行政事務組合のページ

おしらせ

●せん定枝の無料回収が11月で終了しました！

11月末日をもって、せん定枝の資源化回収が終了し、12月～翌年3月は『有料』扱いになりますので、毎週火曜日にもやせるごみ用(赤色)の有料指定袋を巻きつけて、ステーション横にだしてください。

●年末年始のごみ収集・自己搬入受け入れについて

年末年始の休みは、12月31日（木）から1月3日（日）までの4日間です。

この期間、収集および自己搬入の受け入れは行いません。1月4日（月）から、ごみ収集（生ごみ）と自己搬入受け入れを行います。

※ごみステーションの収集は、12月30日（水）も行いません。（第5水曜日のため）

財政状況

地方自治法の規定に基づいて、平成27年9月30日現在の安平・厚真行政事務組合会計の歳入・歳出、財産、地方債の状況についてお知らせします。

予算の執行状況（平成27年9月30日現在）（単位:円）

歳 入	予算現額	収入済額	収入率(%)	備 考
分担金及び負担金	213,316,000	106,660,000	50.0	(内訳)安平町：139,842千円 厚真町：73,474千円
使用料及び手数料	28,828,000	13,380,865	46.4	ごみ処理手数料、大型ごみ処理券、有料指定ごみ袋売扱等
財産 収入	6,140,000	479,610	7.8	アルミ・スチール缶、鉄くず等売扱い等
繰 入 金	1,296,000	0	0.0	
繰 越 金	1,000	716,424	71,642.4	平成26年度繰越金
諸 収 入	1,045,000	571,239	54.7	平成26年度再商品化合理化拠出金配当等
歳入合計	250,626,000	121,808,138	48.6	

歳 出	予算現額	支出済額	執行率(%)	備 考
議会費	167,000	58,550	35.1	組合議会経費
総務費	23,744,000	10,761,547	45.3	事務局職員人件費・事務費等、組合監査委員経費
衛生費	218,450,000	82,243,077	37.6	ごみ処理委託、処理場維持管理費、苦小牧市広域負担金等
公債費	7,265,000	3,631,712	50.0	施設整備のため国からの借入金の償還
予備費	1,000,000	0	0.0	
歳出合計	250,626,000	96,694,886	38.6	

地方債の状況（平成27年9月30日現在）

地方債とは、一定の基準を満たす事業の財源として、組合が国などから借り入れた長期的な借入金です。

区 分	残 高
一般廃棄物処理事業債 最終処分場適正閉鎖事業(H15～16)及びストックヤード施設整備事業(H21～22)の償還	41,247千円

組合財産状況

※物品は、購入金額100万円以上を記載しています。

建 物	2,264.12m ²	塵芥(じんかい)処理場 洗車場汚水処理設備 ストックヤード(キャノピー) 有機物供給センター 保管庫 公用車
物 品	4 台	ホイールローダー 油圧ショベル フォークリフト
基 金	34,289千円	廃棄物処理施設整備基金

Q6 個人番号カードは何に使えるの？通知カードとどう違うの？

「個人番号カード」は、ICチップのついたプラスチック製のカードで、表面に氏名、住所、生年月日、性別（基本4情報）と顔写真、裏面にマイナンバー（個人番号）が記載されますので、本人確認のための公的身分証明書として使用できます（行政機関の窓口等では、通知カードの場合は通知カードに加え運転免許証等の本人確認書類の提示が必要ですが、個人番号カードの場合は個人番号カードだけで済みます）。そのほか、インターネットでe-Tax等の電子申請等が行える電子証明書も付いています。



なお、通知カードには有効期限はありませんが、個人番号カードには有効期限があり、10年間（20歳未満の方は容姿の変化を考慮して5年間）となっています。

Q8 通知カードや個人番号カードの記載内容に変更があったときは、どうすればよいの？

引っ越しなどで市町村に転入届を出すときは、通知カードまたは個人番号カードを同時に提出し、カードの記載内容を変更することとなります。

それ以外の場合でも、通知カードまたは個人番号カードの記載内容に変更があったときは、14日以内に市町村に届け出をお願いします。

Q7 個人番号カードは交付申請しなければならないの？

個人番号カードを申請する・しないは、個人の自由です。なお、申請する場合には、顔写真を必ず添付願います。

使用する顔写真是、直近6カ月以内に撮影した、正面、無帽、無背景の縦4.5cm×横3.5cmのものに限られます。



Q9 マイナンバー詐欺のニュースを見たんだけど・・・

全国的に「マイナンバー詐欺」が増加しています。行政機関が電話や訪問して、マイナンバーやマイナンバーに関連する個人情報を聞き出そうとしたり、お金を要求したりすることはありません。もし、マイナンバー詐欺かも知れないと思われるございましたら、役場総務課（☎27-2322）にお電話ください。



フリーダイヤル（通話料無料）の「国のマイナンバーコールセンター」が開設されました

「通知カード」「個人番号カード」に関する一般的なことや、その他マイナンバー制度全般に関する一般的なお問い合わせにお答えします。

0120-95-0178

（受付時間 平日 9:30～22:00 土日祝 9:30～17:30）

○厚真町における「通知カード」「個人番号カード」に関する問い合わせ先

▶▶▶役場町民福祉課町民生活グループ（☎26-7871）

○厚真町におけるその他マイナンバー制度全般に関する問い合わせ先

▶▶▶役場総務課総務人事グループ（☎27-2322）

*役場への通話は有料ですので、あらかじめご了承ください。受付時間は平日 8:30～17:30です。



マイナンバー

マイナンバーに関する疑問・質問

一問一答

Q2 マイナンバー制度にはどんなメリットがあるの？

社会保障・税に係る行政手続きにおける添付書類の削減やインターネットの「マイナポータル」というお知らせサービス等による住民の利便性の向上に加えて、行政の事務が効率化されます。

また、所得などをより正確に把握することで、行政機関から個人の方への給付や、個人の方が行政機関に支払う税などの負担がより適正・公正に行われるなどの利点があります。

Q1 マイナンバーの通知カード、というものが届いたけど、どうすればいいの？

通知カードには「マイナンバー（個人番号）」が記載されています。

マイナンバー制度が開始される平成28年1月以来は、社会保障や税、災害対策の関係で、行政機関への提出書類にマイナンバーを記載していくことになります。また、行政機関の窓口で手続きをする際には、通知カードと運転免許証などの本人確認書類の提示をお願いします。



Q3 マイナンバー（個人番号）は、誰がどのような場面で使うの？

マイナンバーは、国の行政機関や地方公共団体などで、社会保障、税、災害対策の分野で利用されます。このため、住民の皆さんには、年金・雇用保険・医療保険の手続き、生活保護・児童手当その他福祉の給付、確定申告などの税の手続きなどで、申請書等にマイナンバーを記載していただくことになります。

また、社会保障や税の手続きでは、事業主や証券会社、保険会社などが個人に代わって手続きを行うことされている場合もあります。このため、勤務先や証券会社、保険会社などにもマイナンバーの提供を求められる場合があります。

なお、行政機関等がどのような場面でマイナンバーを利用するかについては法律や条例で定められており、それ以外に利用することは禁止されています。

Q5 他人のマイナンバー（個人番号）をむやみに収集してはいけないの？

社会保障、税、災害対策の手続きに必要な場合など、法律で定められている場合を除き、他人（自己と同一の世帯に属さない者）のマイナンバーの提供を求めたり、収集したり、保管したりすることは、本人の同意があっても禁止されています。



Q4 マイナンバー（個人番号）は誰にでも教えたり、提供したりしていいの？

マイナンバーは、氏名や住所などと同じく「個人情報」となりますので、社会保障、税、災害対策の分野の手続きのために行政機関等に提供する場合を除き、むやみに他人に教えたり、提供したりしないようお願いします。

マイナンバーを提供することとなる具体的な提供先機関は、税務署、地方公共団体、年金・医療保険者、ハローワーク、勤務先、証券会社、保険会社などが考えられます。

厚真の中学校の特産物でピザ作り

厚真中学校の1年生が厚真の特産物を使った新製品を考案

11月13日、厚真中学校（渋川賢一校長）の1年生が厚真町の特産物を使つたピザ作りを行いました。これは、「厚真の特産物をピザでPR」で地域の特産物を使った新製品を考案しよう」をテーマに、町の特産物を利用し、自分たちで意見を出し合つて課題を解決し、さまざまな考え方や立場を理解しながら周囲に働きかける力を養うことを目的に、総合的な学習の一環として行われたもの。

調理実習では、厚真町の米粉で作った生地の上に、特産物のハスカツブや厚真鶏、ジンギスカン、豆腐（雪ほたる）などを使い、各グループで考えた具材を組み合わせたピザ作りに挑戦。生徒たちは、先生からアドバイスを受けながら協力してピザ作りを行つていました。



みんなでピザ作り。どんなピザが出来上がるかな？

田んぼのオーナーへ 収穫米を引き渡し

11月21日、町観光協会の「平成27年度田んぼのオーナー・収穫米引き渡し」が本郷地区のサンマルゴ（町観光協会事務所）で行われ、苫小牧市や千歳市、札幌市などから28組・約40名が訪れ、収穫米を受け取りました。

今年は、稲刈り前の台風や大雨などの天候不良もあり、収穫量は1区画（1ヘクタール）あたり玄米で47kg（前年比-12kg）、精米で42.3kg程度となりました。リピーターのオーナーからは「収穫量が減って残念」という声もありましたが「来年に期待します」という方多くいました。



厚真ライオンズクラブが フェイスタオルを寄贈

厚真ライオンズクラブ（兵頭利彦会長、32人）が11月27日、町内の団体へフェイスタオルを寄贈する「タオルボランティア」を実施しました。

これは、昨年から道内の各ライオンズクラブが取り組んでいる活動で、厚真ライオンズクラブも昨年に引き続き実施したもの。当日は、兵頭会長と佐藤秋夫前会長、高橋茂幹事らが厚真町社会福祉協議会とグループホームえがおの家の2団体を訪問し「役立ててください」と、合計350枚の新品のフェイスタオルを代表者へ手渡しました。

11月のまちの話題



ヒグマについての勉強会が11月6日、総合ケアセンターゆくりで開かれました。

当日は、道内各地でヒグマの対策事業を実施している早稻田宏一さんを講師に招き、ヒグマの生態や痕跡の特徴、移動する範囲などについて、具体的なデータを見ながら説明が行われました。

また、勉強会では、1歳程度の小熊や、体重300kg程度の雄のヒグマの毛皮や乾燥した骨なども示され、参加者は興味深そうに見入っていました。

ヒグマを知ろう！ヒグマの勉強会



空手道最強塾に所属の上村幸生くん（上厚真小学校3年生）が、11月14、15日に国立代々木競技場第一体育館（東京都）で開催される「第9回JJKJ-O全日本ジユニア空手道選手権大会」に出場が決まり11月9日、指導員近藤大河さんとともに役場を訪れ、宮坂町長へ全国大会出場の報告を行いました。

「家族のみんなを守りたい」と、小学1年生から空手を始めたという上村くん。今回は、春に行われた「フルコンタクトチャレンジ北海道」の小学3年男子重量27kg以上で準優勝を果たし、同階級への全国大会の出場権を獲得しました。昨年に続き、2度目となる全国大会出場に宮坂町長は「ぜひ、全国大会で成果を上げて頑張つてきてください」と激励。練習に加え、積極的に大会に出て試合勘を養ってきたという上村くんは「目標は優勝です」と力強く話していました。



冬期間も事故に注意！セーフティコール

厚高解のない問題を考える

女性消防団員らが独居老人宅へ防火検査

11月19日、厚真高校（岡本研校長）で1年生を対象に防災授業が行われました。当日は、町防災アドバイザーの定池祐季さんを招き「生き抜く力を高めるためにくらしの中に防災を」と題し講演。定池さんは、東日本大震災や今年9月の関東・東北豪雨の被災地でのインタビューや紹介後、解のない問題に対しても最も善い答えを考える「クロスロード」というゲームを行い、生徒たちに普段からの防災対策の大切さを説明していました。



冬期間も事故に注意！セーフティコール



11月8日からの防火検査を前に11月2日、胆振東部消防組合厚真消防団女性消防（山口真由美班長）の団員らが町長室を訪れ、胆振東部消防組合管理者である宮坂町長へあいさつを行いました。女性消防は毎年手作りの啓発グッズを携えて一人暮らしの高齢者宅を訪問し、啓発活動を行っています。今年はメッセージカード入りの小物入れを作製し、12月5日まで3回にわたり約90世帯を訪問し、火災予防を呼びかけました。



小納谷さんからお米を受け取るオーナー

お遊戯や歌や劇を楽しく頑張ったよ！



こども園つみき



町内こども園・保育園で 発表会・お遊戯会

11月中・下旬、町内こども園、保育園で発表会・お遊戯会が行われ、園児たちがあ遊戯や歌などを披露しました。

11月14日は宮の森保育園(佐藤秋夫園長)のお遊戯会が、21日はこども園つみき(宇佐美修一園長)の発表会、また、さくら保育園(金光明充園長)のお遊戯会が行われました。

保護者や地域の方などたくさんの人々が見守る中、園児たちは元気いっぱいに歌やお遊戯を発表。数ヶ月前から練習を重ねて本番を迎えた子どもたちの頑張りに、会場から大きな拍手が送られていました。



宮の森保育園



さくら保育園



まちの話題 plus

将来の生き方や職業選択について学ぶ 厚真中学校2年生が職業体験



消防署で職業体験を行う生徒

11月12日・13日の2日間、厚真中学校(渋川賢一校長)の2年生が、役場や消防署、町内の事業所等で職業体験学習を行いました。

これは、総合的な学習の時間「進路学習」の一環として、将来の生き方や職業選択について幅広いものの見方を育成することを目的に実施しているもの。

役場で情報発信や広報の仕事を体験した妹背桃苗さんは「細かなところまで説明してもらい、とても分かりやすかったです。文章の書き方は、学校の学習でも役立つの参考にしたいと思いました。なかなかできない体験ができて、とっても良かったです」と感想を話していました。

※左の写真は、広報業務の実習で妹背さんが撮影したものです。



あつまるくんと一緒にクイズに挑戦する来場者

東京で厚真町をまるごと紹介

10月31日から11月1日まで、東京駅前JPタワーKITTEを会場に、厚真の移住・定住相談や「ふるさと厚真応援寄附金」の案内、特産品のPR・販売など町のすべてを紹介する「北海道あつま町まるごとフェア」が開催されました。会場では、あつまるくんが登場して厚真町に関するクイズ大会が開催されたほか、特産品500円以上のお買い上げでさくら米のすくい取りやジャガイモ詰め放題も行われ、来場者から人気となっていました。今回のフェアには2日間で1,500人以上の方が足を運び、持ち込んだ特産品もほぼ完売となりました。



研究事例報告に熱心に聞き入る参加者

効率的・効果的な林業経営を目指して

11月17日、国立研究開発法人森林総合研究所北海道支所と下川町(協力・厚真町)主催による「先進機械を活用した伐採・造林一貫システムによる低コスト人工林管理技術開発講演会・現地検討会」が開催され、道内外から林業関係者ら約30人が参加しました。

現地検討会では、新しい造林システムであるクラッシャ地拵え実演を町有林で実施。その後、会場を総合ケアセンターゆくりに移し、森林総合研究所員による伐採と造林一貫システム報告が行われ、低コスト・高生産性を図るために事例発表に参加者は熱心に聞き入っていました。

今年も健闘！ゆるキャラ®グランプリ

ゆるキャラたちの1年に一度のお祭り「ゆるキャラ®グランプリ2015」の結果が11月23日、静岡県浜松市で開催された「ゆるキャラグランプリ2015 in 出世の街浜松」で発表され、厚真町公式キャラクターあつまるくんは、全国1,727体(海外、企業枠を含む)の中で総合374位(ご当地部門では250位)となりました。

今年は、昨年の総投票数4,381ポイントをはるかに超える7,543ポイントを獲得しました。たくさんの応援や投票へのご協力ありがとうございました！



たくさん応援と投票ありがとうございました！
あつまるくん